



アクサ生命、 「復興支援 1 件 1 ユーロ寄付キャンペーン ～みらいをつくろう～」を継続 ～日本ユネスコ協会連盟を通じて、被災地の子どもたちの就学と減災教育を支援～

アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表執行役社長兼 CEO:ジャン=ルイ・ローラン・ジョシ)は、昨年に引き続き、2013年3月1日から1年間、「復興支援 1 件 1 ユーロ寄付キャンペーン～みらいをつくろう～」を実施します。

本キャンペーンは、東日本大震災の被災地のみらいを担う子供たちの就学支援を目的として、キャンペーン期間中にアクサ生命の商品にご加入いただいたお客さまのご契約 1 件につき1ユーロ相当額を積算^{*1}し、日本ユネスコ協会連盟が実施する「ユネスコ協会就学支援奨学金-アクサ奨学生」^{*2}に寄付するというものです。アクサ生命は、このキャンペーンを 2012 年に実施しましたが、震災後、被災地域で経済的理由で就学が困難となっている小・中学生が 40,000 人に上るといわれていることから、今年も継続してこのキャンペーンを実施することを決定しました。

昨年の寄付キャンペーンによる寄付金 3000 万円は、大震災で多大な被害を受けた宮城県名取市の「アクサ奨学生」(今年 4 月に高校に入学する中学生)に充当します。さらに、アクサ生命は今年のキャンペーンによる寄付金も、引き続きアクサ奨学生への奨学金に充て、約 60 名の奨学生を応援していく予定です。

また、今年から、本キャンペーンによる寄付の一部を「アクサ ユネスコ減災教育プログラム(仮称)」による減災教育に拠出していきます。被災地での経験を今後の減災教育に活かすことを目的に、全国約 500 カ所の「ユネスコスクール」^{*3}から数十校(仮)を選出し、減災に関する授業や課外教育への助成を実施します。

アクサ生命は、お客さまが安心して人生を送ることができるようにお守りすることが保険会社の使命であると考えています。「1 件 1 ユーロ寄付キャンペーン」は、アクサ生命が、被災地の復興支援を目的に 2011 年より実施しているものです。被災地域のニーズを踏まえて 2011 年は、「こころケア」を中心とした医療活動支援を、そして、2012 年に引き続き、2013 年も被災地域の子供たちの就学支援を行っていきます。本キャンペーンが、被災地の『みらいづくり』の一助となるよう心より願っています。

^{*1} 一部対象とならない契約があります

^{*2} 「ユネスコ協会就学支援 奨学金」

UNESCO(国際連合教育科学文化機関)憲章の理念に共鳴し活動している日本ユネスコ協会連盟が、被災地域の自治体の要望を受けて創設した奨学金制度です。対象地域は、岩手県、宮城県、福島県。津波による家屋流失などの理由によって著しく経済状況が悪化した家庭の小・中学生に対し、返還不要で奨学金が給付されます。

^{*3} 「持続発展教育(ESD)」の国連における主導機関である UNESCO が、ESD を実践していると認定した学校による、世界の学校間ネットワークです。日本では、文部科学省/日本ユネスコ国内委員会の主導のもと、ユネスコスクールを国内の ESD の推進拠点と位置づけています。

アクサ生命について

アクサ生命は AXA のメンバーカンパニーとして 1994 年に設立されました。AXA が世界で培ってきた知識と経験を活かし、200 万の個人、2,500 の企業・団体のお客さまに、死亡保障や医療・がん保障、年金、資産形成などの幅広い商品を、多様な販売チャネルを通じてお届けしています。2011 年度には、2,510 億円の保険金や年金、給付金をお支払いしています。

AXA グループについて

AXA は世界 57 ヶ国で 16 万 3000 人の従業員を擁し、1 億 200 万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく 2012 年度通期の売上は 901 億ユーロ、アンダーライティング・アーニングス(基本利益)は 43 億ユーロ、2012 年 12 月 31 日時点における運用資産総額は 1 兆 1,160 億ユーロにのびます。AXA はユーロネクスト・パリのコンパートメント A に上場しており、AXA の米国預託株式は OTC QX プラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)や FTSE4GOOD などの国際的な主要 SRI インデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。詳細は www.axa.com をご参照ください。

